

東日観光のあゆみ

TONICHI TRAVEL SERVICE
HISTORY BOOK

1950
設立

70周年を迎え

2020年11月27日、東日観光株式会社は設立以来おかげさまで70周年を迎える事が出来ました。

終戦から5年を経た1950年11月「平和な世の中ではレジャー産業が伸びる」と鈴木真氏の強い信念の基、東日観光は設立され、戦後復興期から高度経済成長時代、経済のグローバル化、テクノロジーの目覚ましい進化によるIT革命、少子高齢化への人口推移等猛烈なスピードで環境が変化中、それぞれの時代を担った先輩達が築き上げた信頼の基、それぞれの時代のお客様を紡ぎ続けてきた我々は、「旅を通じて無限の可能性に挑戦し続ける企業」を目指し、更なる発展を次世代に託してまいります。

今現在、嘗てない観光業の窮状を経験している我々は、70年の礎を守り抜くべく危機感を全ての社員と共有し、100年企業として更なる発展を継続すべくこの難局を克服してまいります。未来の社員の為に、未来のお客様の為に、未来の社会の為に。

代表取締役 井口 勝正





茂原駅前の通り（茂原市・昭和37年）／「[長生・夷隅の昭和] いき出版刊行より」

初代 鈴木社長 インタビュー interview

- 日 時 : 2019年4月25日(木) 13:00~14:30
- 場 所 : 川崎市・日航川崎B1「おつぼ」
- 参加者 : 鈴木真(初代社長)・井口勝正(6代目社長29期)
永田隆茂(16期)・松上利明(17期)
鈴木正彦(28期)・折笠雅浩(31期)

昭和25年11月27日設立
どんな動機で想いで、東日観光という
旅行会社を始めたのですか？

私は戦後、昭和23年まで第二復員局におった
のですが、それ以降ははっきりした職業を持ってお
りませんでした。友人の勧めもあって、旅行会社
に行ってみようと、観光はどんなものかやってみ
ようと、新日本観光(はとバスの旧社名)にいた

浅野君を頼って入らせてもらいました。

その浅野君と一緒にやりましようといってきたん
です。最初は「東日倶楽部」として動き、そして昭
和25年11月27日に、東日観光という法人にしまし
た。深瀬さんという市会議員の紹介で、川崎の
ミスタウン(映画館街:現在のチネチッタ)の洋裁
学校の入り口を借りて始めました。手書きで自社
の宣伝ポスターを作り、糊を入れたバケツを持っ
て自転車で電柱に貼りに行きました。

最初の頃は非常に苦勞をしました。春と秋は旅
行の仕事がありました。当時夏と冬は旅行の
仕事がありませんでした。鎌倉の由比ガ浜へ
行って海の家脱衣場の権利を買って夏場を
しのぎ、冬は、暖房用の炭を福島から貨車1両
買い取り、川崎の企業、味の素や三菱機械、
三菱自動車などの組合に納めました。非常に重
宝され旅行の仕事の無い夏・冬をしのぎました。





千葉で牙城を形成

川崎で立ち上げて間もなく、浅野専務が先頭に立ち、千葉方面を開拓していきました。その頃は、残業とか無く営業の男性もいいかげんな勤務でしたが、遅くまで残って仕事をしてくれた女性陣(湯浅さん・本吉さん・石原さん)に非常に助けてもらいました。なぜ千葉を攻めたかという、千葉は海に囲まれていて、近県より攻めにくい地形であったからです。そこに八つの営業所を作りきめ細かいセールスをしました。自分達が学生だった頃の先生が校長になっていたことでセールスがうまくいきました。

昔の国鉄(現在のJR)では団体券の発行高を毎月発表していて、当時東日観光は常にベスト10に入っていました。他の大手旅行会社は皆びっくりして、東日観光はどんな経営をしているんだと評判になりました。

東日観光のネーミング

東日観光というネーミングは、東日本ということを意識して、東日にしました。バッジは、太陽と富士山を組み合わせて考えました。

IT化で東日イズムの継承

私も長く社長をしていましたが、色々欠点がありました。まず英語の会話がうまくない。これからの海外旅行にはこれではまずい。それともひとつは通信関係。私が社長を辞めるころから感じていました。大手に対抗するためには通信関係だと。もうすぐ5Gの時代になりますね。

なんとか次を読んでいかないと生き残れないと感じています。ただし、世の中どんなに発展していても、使うのは人間ですからね。

【沿革】創業期から激動の昭和

年 度	東日観光の出来事	社会の動向
1948年／昭和23年	戦後の傷跡が残る中、川崎市小川町に「東日観光倶楽部」発足	
1950年／昭和25年	東日観光株式会社を設立(11月27日) 初代社長 鈴木真	
1951年／昭和26年	増えてきた修学旅行の需要から千葉営業所を開設	
1959年／昭和34年	川崎駅ビル営業所開設	東京タワー完工(1958年)
1969年／昭和44年	木更津営業所開設	東京オリンピック開催・東海道新幹線営業開始(1964年)
1970年／昭和45年	一般旅行業登録、グローバル化スタートへ	大阪万博(1970年)
1972年／昭和47年	オリジナルブランド「ユーミーツアー」命名、販売開始	札幌冬季オリンピック開催(1972年)
1974年／昭和49年	日本旅行業協会(JATA)に加盟、茂原営業所完成	小野田寛郎元陸軍少尉帰国(1974年)
1975年／昭和50年	沖縄海洋博ツアー、ヨロン島ツアー実施	沖縄国際海洋博覧会開催(1975年)



旧茂原営業所



木更津営業所



自衛隊体験研修

年 度	東日観光の出来事	社会の動向
1976年／昭和51年	習志野陸上自衛隊空挺団体験入隊	
1977年／昭和52年	鹿野山禅林研修	
1978年／昭和53年	鉄道旅客協会に加入・マルス端末機設置	成田空港開港(1978年)
1979年／昭和54年	相模営業所開設	
1981年／昭和56年	「ユーミーツアー」北海道一周毛ガニお土産ツアー	
1982年／昭和57年	「ユーミーツアー」九州一周カステラ・ホテル 焼きお土産付ツアー開催	
1983年／昭和58年		東京ディズニーランド開業(1983年)
1985年／昭和60年		つくば万博(1985年)
1986年／昭和61年	朝日学生新聞社共同企画「朝日冒険クラブ」 販売開始 小野田少尉ジャングルキャンプを皮切りに、 はらたいら、乱太郎、リカちゃんキャンプ等 開催。	



歩け歩け大会



歩け歩け大会



社員大会

【沿革】平成から未来へ

年 度	東日観光の出来事	社会の動向
1989年／平成元年	JR茂原駅前に東日ビル(自社ビル)完成 茂原営業所を新装オープン	消費税3%、バブル経済崩壊
1991年／平成3年	JALタイアップ「瀬戸内海無人島キャンプ (ひょうたん島キャンプ)」開始、以降10年 継続。企業タイアップツアー多数実施。	
1992年／平成4年	タイヘイ(株)の経営傘下となる	
1993年／平成5年	鈴木真社長退任、沼井靖之社長就任	阪神・淡路大震災
1996年／平成8年	旅行業法改正により運輸大臣登録第一種 旅行業として登録	Windows95発売でインターネット が普及
1997年／平成9年	平成9年5月 IATA公認業者	消費税5%・長野冬季五輪開催 (1998年)
2000年／平成12年	川崎市駅前本町に本社営業所を移転	
2001年／平成13年	ジャパンアメニティトラベルを吸収合併、 国内唯一の国際ロータリートラベルサービス RITS指定業者となる。	米国同時多発テロ発生・USJ 開業(2001年)
2002年／平成14年	沼井社長逝去により阿部正雄社長就任	サッカーワールドカップ日韓大会 開催(2002年)



東日ビル完成



野球部

年 度	東日観光の出来事	社会の動向
2003年／平成15年	高橋敬社長就任 東京都中央区築地に本社営業部、業務センターを移転	イラク戦争勃発・SARS流行 (2003年) 愛知万博開業(2005年)
2007年／平成19年	米村道章社長就任	新潟県中越沖地震発生(2007年)
2008年／平成20年	観光庁長官登録旅行業270号となる	観光庁創設・リーマンショック (2008年) 東北新幹線が全線開業(2010年) 東日本大震災(2011年)、東京スカイツリー開業(2012年)
2016年／平成28年	米村道章社長退任	熊本地震・伊勢志摩サミット開催 (2016年)
2017年／平成29年	井口勝正社長就任	
2018年／平成30年	T-LIFEホールディングス設立	ラグビーワールドカップ開催 (2019年)
2020年／令和2年	東日観光創立70周年	新型コロナウイルスによるパンデミック 東京オリンピック・パラリンピック 開催延期



海外研修



川崎支店オープン



創業者・鈴木真元社長を囲んで

オリジナルツアーブランド

【ユーミーツアー】

ネーミングは、昭和48年にブランド名を社内募集して決められました。トレードマークであるアヒルロゴは、昭和63年東京ドーム落成時、全国で募集されたロゴの選に漏れた作品をいただいたものです。

「ユーミーツアー」の本格的な始まりは、昭和50年の沖縄海洋博覧会開催に伴い、当社も2泊と3泊パターンでツアーを造成し販売、全社で約1,000名を集客、その年社員全員に臨時ボーナスが出た程でした。翌年も2匹目のドジョウを狙いましたが集客は芳しくなく、策を練ろうと南の島々を色々下見した結果、ヨロン島に目を付けました。東京から船(安い料金で若者向き)と飛行機で沖縄に飛びそこから船でヨロン島(割高だが時短向け)の募集をしたところ、目新しさと島名で若者の人気が高まり、現地駐在員を置くまでになりました。

南の島シリーズ以外で大きく当たったのは、昭和56年の「北海道一周毛ガニお土産付(3泊4日)」で、全社で集客を競い約1,800名を集客しました。集客方法は新聞の折り込み、営業、バス車内吊り等です。

昭和57年には「九州一周カステラ・ホテル焼きお土産



付(4泊5日)」を催行し2,500名の集客があり会社は大きな盛り上がりを見せました。翌年の昭和58年には「四国一周(3泊4日)」を企画しましたが集客は芳しくありませんでした。この頃よりビッグホリデーやサミーツアー等他社が全国の代理店販売で集客したのに対し、集客ツールが社内みの「ユーミーツアー」は、参加者が集まらず催行中止の企画が増えていきました。「ユーミーツアー」も低迷期がありました。北海道や九州ツアーは、普段学生の仕事ばかりで日光や関西は何度も添乗しているが航空機利用の添乗等を知らない若手営業社員にとって「学習の場・研修の場」となり、それなりの効果を得られました。

【会社概要】

- 会社名: 東日観光株式会社
(観光庁長官登録旅行業第270号)
- 英文名: TONICHI TRAVEL SERVICE CO., LTD.
- 本社: 〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-2-8
ニッケ東京ビル4F TEL: 03-6374-4370(代表)
- 代表者: 代表取締役 井口 勝正
- 資本金: 8,000万円(払込資本金)
- 設立年月日: 1950年11月27日
- 従業員数: 170名
- 事業所・支店: 本社/本社営業部/支店

- 加盟団体
一般社団法人日本旅行業協会 正会員、
ボンド保証会員、鉄道旅客協会(JR指定)
会員、エコツアーリズム推進協議会、留学・
語学研修等協議会、旅行業公正取引協議会、
神奈川県貸金系協会、関東財務局長
(5)第01057号

【朝日冒険クラブ】

「朝日冒険クラブ」は東日観光のひとつのセクションとして1986年夏、フィリピンより帰国した小野田少尉の「ジャングルキャンプ(相模湖ピクニックランド)」を皮切りに活動を開始。200名ほどを4回のべ800名を集客しました。以降、数多くの野外活動を企画運営。テレビ番組「クイズダービー」で有名な漫画家はらたいら氏を招いたキャンプや朝日小学生新聞に掲載されている漫画「忍たま乱太郎」をモチーフに「乱太郎キャンプ」「リカちゃんキャンプ」等が続ききました。集客は、朝日小学生新聞で広告を掲載していただき、朝日小学生新聞を取っている家庭や学校からの参加を募りました。朝日の看板があったので集客は良かったです。

この他にもJALタイアップ企画「瀬戸内海無人島キャンプ(ひょうたん島キャンプ)」は人気を博し、毎回100数名の参加で平成3年から10年間続きました。こうした企業とのタイアップは続き、中部電力ダムキャンプ「自然とエネルギーの調和」をテーマに毎回300名を4回実施、飲料会社主催「バードウォッチングツアー」家族対象1泊旅行、玩具メーカー主催「○○ちゃん Family Natuland」幼児キャンプ、信用金庫主催2,500名の大運動会の運営等数々実施し、お客様の満足と企業のイメージアップを図ってきました。また、



朝日学生新聞社の紹介でオーストラリア(ブリスベン)とイギリス(ケンブリッジ)の2か所で海外留学を始め、子どもたちの海外体験にも寄与してきました。

■事業目的

海外・国内旅行の企画、販売、諸手続、予約・手配ならびに添乗サービスなどの一般旅行業務／航空券・JR全券種・私鉄・船舶等の代売業務／両替商業務(国土交通省認可)／保険代理業務／ギフト旅行券・トラベルローンの取扱いほか旅行に付帯する一切の業務。

■主たる取引銀行

りそな銀行/みずほ銀行/三菱UFJ銀行

ご協力いただいたOBの方々(敬称略)

千葉 俊夫	柴崎 孝夫
鈴木 正彦	相川 進
永田 隆茂	松上 利明
柳澤 博	



日本の象徴「富士山」から上る太陽を表現しています。